

社会福祉法人「福寿園」機関紙

[愛と感謝と奉仕]

ひまわり

迎春

149号
令和2年1月10日
新年号

- 2 年頭のごあいさつ
- 4 新春特集〈令和新时代に期待すること〉
- 5 連載vol.40●[記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 6 福寿園の地域貢献事業
- 8 各施設トピックス
- 12 福寿園ニュース
- 14 家族会だより
- 16 連載●外国人介護士リレーインタビュー
連載●ボランティアさん紹介
連載●NEWひまわりギャラリー

令和

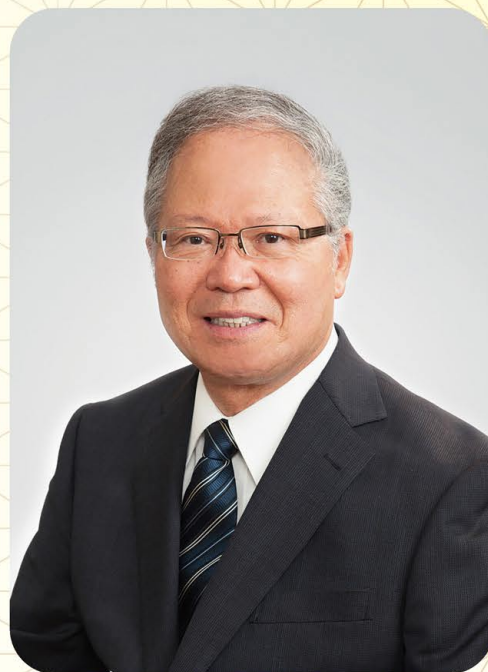


謹んで新春の お慶びを 申し上げます

新年を迎え皆様方にお祝いの言葉を申し上げます。旧年中は弊法人に対しまして、温かいご協力ご支援を賜り誠に有難うございます。また法人内の各施設が大過なく、新年を迎えることができたことを感謝申し上げます。

昨年四月三十日には平成天皇が退位され、翌五月一日に新天皇が即位されて、元号が平成から令和に変わる日本国にとって、記念すべき年となりました。また、秋の即位礼正殿の儀では、宮中において、海外からの多くの賓客、国内の各界の代表者が参列する前で、天皇陛下が内外に即位を宣言されました。「世界の平和を願い、象徴としての務めを果たす」とのお言葉が、国際社会に広く報道されました。

本年は福寿園、法人創立四十周年を迎える節目の年となります。昭和五十五年五月九日に創立した当法人は、同年十二月に養護盲老人ホームを設立し、その後も各市町で整備を進め、現在、県下七市町に十九施設を有する、広域法人に成長させて頂きました。しかしながら近年、人口減少社会、少子高齢化の状況下で、人手



理事長 山田 浩三

不足、人材確保が困難な時代に至っております。人材対策を重要課題として、十年以上前から外国人材の受入れを行ない、国内の人材確保にも努めてきましたが、今後も法人運営の最重要課題としてこの取組みを進めて参ります。

一方で、昨年から着手してきた田原福寿園の建替え・増床工事は、順調に進捗しております。建替えにより多床室の個室化を図り、新タイプの従来型特養として、入所者の生活空間の向上が期待されます。また、職員の動線、働き易い職場を目指して、最新の設備、ICT化を図り、最先端機器を導入いたします。

法人創立四十周年を迎える本年、四十年間の集大成を鑑みると、色々な折にお世話になった多くの方々への感謝の気持ちで一杯です。また、法人創立以来大切にしてきた「愛と感謝と奉仕」の経営理念に忠実に、夢ある未来を目指して参ります。

令和二年 元旦

謹賀新年

旧年中は、格別のご厚情を賜りまして誠にありがとうございました。

昨年は、平成から令和の改元という記念すべき年でありました。そんなお祝いムードの中ですが、世間で取り上げられるニュースは暗いものが多く、厳しい困難な時代を感じずにはいられません。我々社会保障分野においては、少子高齢化の進展等が大きな課題となり、社会保障体制の再構築が求められています。2040年を見据え、社会福祉法人経営のあり方も大きく変わっていくことでしょう。今こそ知恵を出しあつて、この困難な時代を業界がワンチームとなつて乗り越えていく必要があります。

さて当法人では、本年、創立40周年を迎えます。この節目の年に、法人は新たな挑戦を始めます。未来に向かって新たな事業展開を進めていくとともに将来像の構想を検討していきます。関係各位には、何かとご支援とご協力をお願いすることになると思いますが、FUKUJUNSPIRT(福寿園魂)を持つて、職員一丸となり頑張つていく所存でありますので、今年も引き続きよろしく願いたします。皆様にとつて本年がよき年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



常務理事・総務部長
古田 周作

2020年 年頭の辞

新年あけましておめでとうございます。旧年中は何かとお世話になり、衷心より御礼申し上げます。

令和の時代となつて初めての元旦を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。昨年はお祝いムードの中で、台風一九号による大規模かつ広範囲の被害が生じたことは、温室効果ガスの削減がもたらしたなしの事態になっている証左だと思っています。被害を受けられた方々にお見舞い申し上げますとともに、私どもは環境ISOの認証を受けていますので更に省エネを推進していく所存です。また消費税増税に伴つて介護職員等特定処遇改善加算が創設されて介護職員の待遇改善に弾みがつきましたが、日本一求人倍率が高い愛知県では焼け石に水ですので、グローバルスタッフの育成、情報共有の仕組み作りが急務になっています。そのためにICTの活用を推進することが必要です。また今年は田原福寿園の増床新築の竣工開設、四〇周年記念行事等を控えています。引き続き皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



理事・施設部長
中立 次夫

令和新时代に期待するってこと

元号が平成から令和に改元され、初めての新年を迎えました。『令和』が皆さんにとって素晴らしい時代となりますよう願うばかりです。福寿園の皆さんにも、「令和の新时代に期待すること」をそれぞれお聞きしました。

みんなが笑顔で
過ごせる時代。

加藤 亞東美 さん

ちた福寿園ショートステイ利用者

皆と一緒に楽しく忘れ
られない経験がたくさん
できますように。

ジーデ

ひまわり邸職員

『東京五輪 水泳で
金メダルラッシュ!!』
女学生時代は背泳の
選手でした。

橋本 美代子 さん

豊田福寿園入居者

楽しく幸せに、そ
して健康に暮らし
たいと思います。

林 千津子 さん

ケアハウス みなみ入居者

長生きもしたい
し、幸せな時代に
したいですね。

浦田 弘美

ケアハウス みなみ施設長

令和の年も楽しく満足
度100%の生活を続け
たいと思っています。

岩本 勝之 さん

ケアハウス 武豊入居者

食べても太らない
スイーツが開発さ
れてほしい。

柿本 真代

養護盲福寿園職員

今の世の中にとて
も感謝していま
す。この状態が続
いてほしいです。

松木 美喜 さん

養護盲福寿園入所者

介護の素晴らしさが
もっと色々な人に知っ
て貰えるような時代にな
って欲しい!!

青木 美樹

武豊福寿園職員

令和の時代も、自分自
身が健康に元気で過
したい。そして、平和で
ありますように!

竹下 和子 さん

武豊福寿園入居者

これからもみんな
が楽しく、そして
仲良くしていけれ
たら良いよね。

伊藤 春枝 さん

渥美福寿園入居者

大正に生まれ、昭和、平成、
令和と4つの時代を生きて
きた。17歳の時に白紙が届
き台湾に行った。今は戦争
のない平和な世の中になっ
た。いつまでも戦争のない
時代が続くといい。

岸上 春美 さん

花の里デイサービス利用者

連載 40

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



私は大正15年8月7日に名鉄岡崎駅そばの明大寺で生まれ、兄弟姉妹八人の末子でした。当時結核が蔓延しており、母と上5人は命を落としました。幸い私と上2人は、実家から離されたおかげで助かりました。3才から母の実家の叔父に引き取られることになり、小学5年生の時、支那事変が起きました。終戦の間際、B-29の本土空襲があり、我家の真上で砲弾を落とすと、丁度

十キロ真北のトヨタ自動車の工場で砲煙が上がりました。ある時、野良仕事中に戦闘機に銃撃され、逃げ場もなくトマト畑の畝の間にうずくまり、鉄砲玉がブスブスと突き刺さる音を聞きながら恐怖に震え、お互いの無事を確認する言葉すら出ませんでした。後で考えると単なる威嚇だったのかもしれませんが、生きていたのですから。戦中に置かれた環境下では、希望溢れる青春は程遠く、無



伊豫田 まみ子
(みなみ福寿園)

プロフィール

生年月日…大正15年8月7日
年齢…93歳
出身…愛知県豊田市
趣味…水泳、書道、茶華道、旅行
信条…何事もあきらめず努力すること

かったも同然でした。そんな中で見合い結婚しましたが、数ヶ月後、夫に「徴収令状」が届きました。出兵を覚悟していた矢先、8月15日の終戦を迎えることになりました。占領下で米軍に何をされるか分からないとの風評が流れ、恐ろしく、その時のことは今でも思い出たくありません。後で分ったことですが、夫は養子で令状が届くのが転籍のため遅れ、出兵できなかったとのこと。夫の同級生の中には、出兵船を撃沈され亡くなった方もいると聞かれました。戦争を憎み、戦争のない世の中に皆で努めていただけるよう、お願いするばかりです。

農業を営み、家庭を一生懸命に守ることが精いっぱいな時が流れ、53歳の時、夫を胃ガンで亡くしました。開いていた「着付け・組みひも」教室もやめ、何もする気になれない日々が3年続きましたが、孫に誘われスイミングスクールに通うことになりました。ちいちゃな体でしたが



プール仲間と(左が本人)

バタフライが得意で、お仲間もでき、82歳まで続けました。地球を2周半(10万キロメートル)もの距離を泳げたのが、自分を誉めてやれることです。

今は、脳梗塞を3度も患い、認知症も進み、皆さんにお世話になっている毎日ですが、息子が言うには、みなみ福寿園にお世話になってから心が落ち着く様になったと言ってくれます。有り難う御座います。

特集

福寿園が取り組んでいる 地域貢献事業

認知症サポーター養成講座



地域の小中学校や自治会、企業に出向き、認知症サポーター、認知症サポーターキッズ養成講座を実施しています。

高校生の福祉教育授業への講師派遣



愛知県立福江高等学校の福祉教育授業に非常勤講師を派遣。地域の福祉教育や将来の福祉人材の育成に努めています。

地域交流行事の開催



各施設で夏まつりや文化祭など地域交流行事を開催しております。施設を開放しながら地域住民と入居者のふれあい、学生・地域のボランティアさんにもご協力いただいております。

カフェ・レストランの開設



カフェやレストランを開設し、近隣住民のコミュニティ活性化の一助に。福寿園ブランドである「福寿園の食事」を味わうことができます。

小学校でガイドヘルプの授業



元々、福寿園の原点である視覚障害者支援のノウハウを生かし、地域の小学校でガイドヘルプの授業を職員が行っています。

子ども食堂



家族と食事を取る機会が少ない子どもたちに定期的に子ども食堂を開いています。

学習支援事業



経済的に学習機会が得られない世帯の子どもに対し、ボランティアによる学習支援事業を行っています。

地域住民向けの福祉講演会、絵手紙作品募集



「福寿園をはぐくむ会未来」と共催で、地域の方を対象に入場無料の福祉講演会を実施しています。福祉の絵手紙として、毎年5,000人以上の小学校の児童さん、社会人の方からも多くご応募いただき、表彰させていただいています。

給食・配食サービス、安否確認サービス



地域の一人暮らしの高齢者等を対象とした給食・配食および見守りサービスを実施。地域のセーフティネットの役割とバランスのとれた食事の支援に貢献しています。

施設内地域交流ホールの開放



施設内の地域交流ホールを地域住民のサークル活動や教室で開放し、子どもからお年寄りまで地域住民の身近な場所として慣れ親しんでいただいています。

認知症カフェ、憩いのサロンの開設



サロン活動を通して、地域住民の居場所づくりや介護予防に取り組んでいます。認知症カフェも開催し、認知症の家族介護を支援しています。

各施設 TOPICS トピックス

祝！100歳 ケアハウスパシフィック



パシフィックに入居されている高瀬あきゑさんが、11月5日に100歳の誕生日を迎えられました。ご家族と入居者の皆さん、職員でケーキを食

るけどこれからもよろしく願います」と、お礼のお言葉をいただきました。これからもお元気にお過ごしてください。

べて誕生日のお祝いをしました。職員と入居者さんで作った千羽鶴と色紙、お花などをプレゼントしました。「ありがとうございました。迷惑かけず。迷惑かけ

田原福寿園

暖炉を囲んで

寒さが厳しくなってきた今日この頃、特養新館に職員お手製の暖炉が登場しました。眺めているだけでも身も心もほっこりとした暖かな気持ちになります。

暖炉の前では、リハビリをしたり、皆さんでお茶を楽しんだり、ゆっくりにした時間が流れて行きます。

他にも施設内には、きらきらと輝くイルミネーションや、クリスマスツリーが飾られて、冬を彩る演出にお年寄りのみなさんの暖かな笑顔があちこちであふれています。



ひまわり邸グループホーム

じゃがいも祭り

12月4日にグループホームで、北海道の産地直送じゃがいもを使った食事をを行いました。メニューは肉じゃがや昔懐かしの芋餅など、どれもじゃがいもを使ったものばかり。皆さん頼張りながら、昔話に花が咲きます。中でも3種のじゃがいもの味がそれぞれ楽しめるコロッケは、「じゃがいもの種類が違っただけでこんなに味が違うんだね」と驚かれています。

旬の味を存分に楽しめた、大満足の食事会となりました。



花の里

『なのはな』暖簾を上げました

11月22日、今年も居酒屋『なのはな』を開催しました。肌寒い日には嬉しいおでんや煮込みうどんなどがメニューに上がり、皆さん思い思いのものを選び、またご友人とお酒を飲み交わし、おしゃべりにも花が咲いていました。歌好きな方はカラオケで十八番を熱唱され、拍手喝采で大変盛り上がりっていました。今回の居酒屋『なのはな』も笑顔の中、暖簾を下しました。



冬支度が整いました！

11月17日、おしゃれセンターうらしまさんによる衣類の移動販売が行われました。素敵な洋服が多数あり、入居者・ご家族ともに真剣な眼差しで服を選ばれていました。

「こんな年になっても、やっぱり迷っちゃうね。照れちゃう」と笑顔で楽しみながらお買い物がされていました。「これから寒くなるから暖かいものが欲しくてね」と羽織物を購入されている方もおり、移動式ブティックは大好評でした。



ケアハウスきぬうら

竹島水族館へ

11月21日、入居者12名、職員3名の総勢15名でバスピクニックに出かけました。昼食は『ファンタジー館 魚々の里』にて各自好みの海鮮丼で舌つづみ。おみやげ選びも楽しまれ、その後水族館内を散策し、こじんまりとした竹島のユニークな魚の説明文に、笑みがこぼれていました。アシカショーでは、愛嬌ある演技に「すごい！」と、拍手され喜ばれていました。帰りの車中では、楽しかったよ、また行きたいねと、会話がはずみました。



ひまわりの街ショートステイ

みんな大好き弘法山

11月21日・28日に、知立市にある弘法山遍照院へ出かけました。寒さも本番になり、イチヨウの葉も綺麗に色づき、葉っぱを記念に持ち帰る方もみえるなど、季節を感じていただけなのではないと思います。「若い頃に行ったことがある」という方も何人かみえ、昔を思い出すかのように散歩しながらお参りし、「元気で過ごせますように」と手を合わせていました。帰り際には甘酒を飲んで、冷えた体を温めてから帰りました。なかなか行くことができない方も多いので、とても喜ばれました。



昭和の里デイサービス

彩り華やか！手まり寿司

11月27日、大好評の手まり寿司会が開催されました。マグロ、いくらに白身やサーモン、太巻きになり等がずらりと並び、生魚が苦手な方でも楽しめるよう、牛肉や椎茸もあり、厨房職員の工夫が見られました。中でも人気だったのは、うなぎちらし！あつという間に空っぽに。久しぶりのお寿司で、お腹も心も満腹となりました。



紅白対決！忘年会

12月17日にデイサービスセンターとショートステイセンター合同で、忘年会を開催しました。

昼食は、カレー味の福寿鍋をみなさんの目の前で調理し、職員・利用者さんみんなで熱々の鍋を囲んで食べました。「とても美味しいね」と何度もおかわりされていました。午後からは紅白歌合戦を行いました。懐かしの歌や踊りを披露し、笑いが絶えず大盛況でした。歌合戦の結果は、利用者さんから多く票をもらった白組が優勝しました♪



四郷小学校出張学会



毎年、地域包括支援センターが小学校低学年を対象に、『高齢者の理解』という授業を行っています。今年も授業を受けた四郷小3年生の皆さんが、高齢者の皆さんが身近に感じていただける内容を考え、劇を披露してくれました。ホールに響き渡る児童の力強い声、迫真の演技。場面が変わるたびに「次は、どうなるのかな」とワクワクしながら鑑賞しました。劇終了後は、子供たちとの交流の時間もあり、心温まるひとときとなりました。

キラキラ輝く冬の夜

12月初旬のある夕暮れ、田原市の街中に飾られている大きなイルミネーションを見に出かけてきました。『綺麗だね、こんなの初めて見たよ』と言われ、ツリーを見上げていました。華やかな雰囲気の中、近所の子供たちの元気な声に、とても和やかな雰囲気にもなりました。帰りに、田原駅前の大谷屋食堂へ寄り、みんなでうなぎ丼をいただきました。うなぎで精をつけ、お腹いっぱい、元氣いっぱい！寒い冬を乗り越えましょう！！



20周年を迎えて

11月27日に、武豊町デイサービスセンター砂川開設20周年を祝う会を



盛大に行いました。歴代センター長や元職員も参加し、総勢57名が、すき焼きやお寿司など、美味しい食事を食べながら、各テーブルでは利用者と職員の会話も弾み、みなさんから笑顔が溢れる楽しい食事の時間となりました。最後に20年間利用されている利用者の家族より、「デイサービス砂川に本当に感謝しても感謝しきれないくらい助けてもらっています」と温かい言葉をいただきました。参加していただいた利用者の方からは、「30周年も期待している」という声もありました。今後利用者、ご家族、地域の皆さんに貢献できよう、頑張っていきたいと思います。

養護盲福寿園

日帰り旅行

11月18日、雲一つない晴天の下、入所者のワクワクした気持ちに乗せて、観光バスが出発しました。目指すは犬山城。「私、行ったことある!」「げんこつ飴買わんと」と会話も飛び交い、みんなハイテンション、バスの中には笑顔があふれます。

昼食は、名古屋コーチンの石焼定食、熱した石の上で焼かれる鶏肉の音と匂いが、食欲を誘います。

さて、犬山城に到着。早速、みんな並んで記念写真をパチリ。そして三光稲荷神社へ。みなさん、どんなお願いをしたのでしょうか。

城下町の散策の後は、岡崎PAでお買い物。今回参加できなかったお友達の顔を思い浮かべながらお土産を買い、懐かしい福寿園に戻りました。



武豊福寿園 ショートステイ

寿司パーティー



11月26日、昼食時に寿司パーティーを行ないました。なかなか普段外食の機会を計画することが難しいため、両施設長と施設長補佐の腕前を借りて、ご利用者の目の前でお寿司を握り、握りたてを召し上がっていただきました。普段はあまり食事が満たない方も進んでお寿司を取りに来られ、ニコニコしながらネタを選び、皆さんとても満足した表情をされていました。寿司屋ならではの威勢の良い掛け声がフロアに響き渡り、和やかな雰囲気の中、寿司パーティーを楽しめました。

みなみ福寿園

パン作り

11月21日パン作りを開催しました。専用のパン焼き機でこねてから皆で形を整えていきます。利用者から「これでいいの?」と戸惑いながらもみんなの表情は真剣。「楽しいですね」と声を掛けると、満面の笑みで応えてくれました。焼きあがりを楽しみに待っていると、良い匂いが鼻を撩り、利用者と目が合うと「良い匂いがするね」と笑顔。焼きたてフワフワのパンを食べ、「柔らかいね、美味しい」と大満足の様子でした。直ぐに次はこんなパンが食べたいと言

渥美福寿園

クリスマス喫茶



った意見や、今回初めてパン作りを体験された方から、もっとパンを作ってみたい、昔は自分でパンを焼いたと言った声も上がりました。



10月より季節を感じてもらえる喫茶を開催し、ハロウィンやクリスマスなど、見ても楽しんでもらえるようにテーマに沿った飾りつけやメニューを考えています。今回のクリスマス喫茶は、12月から渥美福寿園に配属になった、フィリピンEPA介護福祉士候補者のアナリンさんとガンバメリさんも一緒に手伝ってくれました。入居者からはいちごのサンタを見て、「これはだるまみたいだね」と笑いきちぎっていました。食べた後クリスマスツリーの前で写真を撮っていました。

第5回 福祉の心をはぐくむ集い



11月4日、田原市文化会館文化ホールで、福寿園をはぐくむ会未来主催「第5回福祉の心をはぐくむ集い」が開催されました。地元成章高校吹奏楽部の皆さんによるオープニングアクト、そして、愛知県内の福寿園が所在する地域の小学校から応募いただいた約5,400通の「福祉の心」絵手紙の、愛知県知事賞を始め田原市市長賞などの表彰式が行われました。第2部は、テレビなどでも有名なダウン症の書家 金澤翔子さんによる席上揮毫（書の実演）を披露されました。いきいきと純粋に筆をとる翔子さん、寄り添ってサポートされる母泰子さんの姿や講演会で語られた親子で辿った軌跡に、会場はあたたかな雰囲気になりました。

令和元年度 職員旅行

今年度も福利厚生の一環で、10月から11月にかけて3コース7班に分かれ、関ヶ原・木更津温泉・石和温泉への職員旅行を実施しました。忙しい日常から離れ、心身ともにリフレッシュ、職員間の親睦も深まり、楽しい旅行となりました。



ミドルマネジャー研修

11月29日、シーパレスリゾート豊橋を会場に、初めてミドルマネジャー研修が開催され、管理者、施設長補佐、係長など施設運営の要である職員22名が参加しました。

今回は「チームビルディングと業務改善」をテーマに、外部講師に㈱ビジネスコンサルタントの井口和之氏による講義やグループワークを交えながら行われました。

介護業界は人手不足も著しく、限られた人財の中でいかにチームワークよく効率的に仕事を進めていけるかが課題です。今回の研修を通じて、上司としての自分を客観視しながら、今後施設のチームワーク向上に大いに役立つ研修となりました。研修会後は、懇親会も行われ、理事長からの労いの言葉やお互いの苦労を分かち合い、明日への活力につながる機会となりました。



福祉の星フォーラム



11月24日、名古屋市の中日新聞本社ビルにて「福祉の星フォーラム」が開催されました。その中で、『福祉現場に外国人がやってくる』をテーマにフレンドリー・ディスカッションが行われ、田原福寿園のガンさんとひまわり邸のジーデさんがシンポジストとして登壇しました。それぞれの考えや悩みについて語り合い、「福祉」に対する熱い意見交換や議論が行われました。

EPAフィリピン11期生歓迎会

12月10日にフィリピンEPA11期生の5名が配属となり、本部にて歓迎会が行われました。法人にて2期生を受け入れ始めてからちょうど10年目の候補生です。

11期生は全員が日本語能力試験のN3を取得しており、すでに8月に配属された1名はN2を取得しています。とはいえ、日本語を学習してしばらく日本語を使わなかったこともあり、まだまだ記憶を呼び起こしている途中の者もいます。これから、日本語の学習・介護福祉士試験の勉強も頑張っていきます。



うねへ 畝部小学校より車椅子の寄贈

みなみ福寿園

12月2日に畝部小学校より車椅子を2台寄贈していただきました。1年間児童たちがアルミ缶、牛乳パックを集めたお金で買ってくれたものです。贈呈式場で福祉委員会の活動報告より、地道な活動の成果を聞くことができました。この活動は9年間続いており、代々受け継がれています。校長先生に話を伺うと、袋いっぱい集めたアルミ缶を担いで持ってくる児童もいるそうです。「お年寄りの為に使ってください。」との言葉が胸に沁みました。この活動の思いを忘れずに、大切にに使わせていただきます。



11月11日は介護の日 啓蒙活動

11月11日の「介護の日」にあたり、地域の皆様に介護の日についてもっと知っていただくため、啓蒙活動を行いました。施設周辺の駅やスーパーへ出向いてチラシや粗品の配布・呼びかけをしたり、入居者と一緒に地域の環境美化活動を行うなど、介護の日について多くの方へPRすることができました。

第30回「福祉QC」全国発表大会 優秀賞、優良賞、敢闘賞を受賞

11月18日～19日、東京の全社協灘尾ホールで、日本福祉施設士会主催、第30回「福祉QC」全国発表大会が開催され、法人から3チームが参加しました。結果は、ひまわり邸が優秀賞、田原ゆの里が優良賞、武豊福寿園が敢闘賞をそれぞれ受賞しました。

ISO維持、拡張審査

12月4日から6日の3日間でISO維持、拡張審査が行われました。今回は武豊町にある砂川デイサービスセンター、渥美町デイサービスセンター、赤羽根デイサービスセンターのサテライト型デイサービス3ヶ所の拡張含め、1年間の運用、取り組み状況を審査していただきました。福寿園に関わる方々に対し、リスクと機会を整理して取り組んでいくことが求められており、活動含めて事務局、各施設で改善が必要な指摘事項もありましたが、法人全体で真摯に受け止め、継続的改善に努めていき、利用者及び地域の方々への満足度の向上を図っていききたいと思います。



「福祉の絵手紙カレンダー」作成

福寿園では、今年も「福祉の絵手紙カレンダー」を作成しました。皆さんより、福祉の心のもった素晴らしい作品をご応募いただき、その中から選ばれた、第16回「福祉の絵手紙」入選作品が掲載されています。

また、今年も「福祉の絵手紙」を募集いたします。皆さんからのたくさんの応募をお待ちしています。

(次回「福祉の絵手紙」作品募集の詳細につきましては、7月頃に機関紙またはホームページでご案内します。)

家族会だより

家族会会長 年頭のごあいさつ



田原福寿園
家族会会長
河合 保寿

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことをお慶び申し上げます。

昨年は家族会行事を通して皆様と交流を図り、又、福寿園をはぐくむ会「未来」での金澤親子の心打たれる講演など思い出深い一年となりました。

今年は、田原福寿園の建て替え、増床が行われます。一人でも多くの方が幸せを感じてもらえるよう家族会としてもご協力させて頂きたいと思っております。

皆様方にとってより良い年になりますようご祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



田原ゆの里
家族会副会長
鈴木 幾雄

新年を迎え、皆様方に謹んでお慶びを申し上げます。

日頃は家族会行事にご理解・ご協力をいただきまして誠に有難うございます。

田原ゆの里では一年を通して、ご家族と一緒に楽しみいただくための夕食会・田原祭りの花火大会・餅つき大会など多数の催しが家族会行事として行われています。今年もできるだけ多くのご家族にご参加いただき、入所者さんとの思い出の一時となることを願っています。

職員の皆様には、快適な環境の中で手厚いご支援をいただき、心より御礼申し上げます。お陰様で、家族は何の心配をすることもなく生活させていただいています。職員さんは、御苦労の多い仕事ですが、これからもどうぞよろしくお願い致します。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



渥美福寿園
家族会会長
古橋 照夫

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年は家族会活動にご参加を頂きまして誠にありがとうございました。

今年度より会長を務めることになりました。父が入所して約三年が過ぎ、表情がとても穏やかになったことに気が付きます。これも、施設のやわらかな雰囲気と明るく声を掛けて下さる職員の皆様の温かい介護のおかげと深く感謝しております。

家族会と致しましても、施設の運営に少しでも力になれたらと考えておりますので、会員の皆様方にも引き続きご協力

をお願い致します。

新たな年が希望に満ちた飛躍の年でありますよう祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



花の里
家族会会長
本田 雅彦

新年あけましておめでとうございます。健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

職員の皆様には、入居者のお世話に多大なるご尽力をいただき感謝に絶えません。また、「花宵祭り」や「餅つき」など、季節ごとに色々な行事を開催していただき、家族の絆や家族会の親睦が深まるばかりでなく、地域の方々との交流も図ることができました。重ねてお礼申し上げます。同時に、ご参加、ご協力いただきました家族会の皆様にも心より感謝申し上げます。

入居者の皆さんが健やかで幸せに生活するには、職員の皆さんの力と同時に家族の力が必須です。今後も個々の家族と家族会の力で『花の里』を応援していけたらと思います。



豊田福寿園
家族会会長
爾見 求

初春のお慶びを申し上げます。皆様にとって、本年もすばらしい一年になります様に、心からお祈り申し上げます。家族会の会長を引き受けて二年目を迎

えます。また、今年は法人本部が40周年を迎える節目の年であり、法人全体で家族会の皆様、職員の皆様に支えてもらいながら、一緒に盛り上げていけたらと思っています。

家族会の活動を通し、皆様方にとって笑顔いっぱい的一年でありますように祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



みなみ福寿園
家族会会長
上田 博幸

新年あけましておめでとうございます。家族会・入所者並びに職員の皆様には健やかに新春を迎えられ、お慶び申し上げます。私事ですが、みなみ福寿園に母親が入所し、5年がたちましたが、家族会のイベントはいつも盛況で、楽しいひと時を味わっています。これは職員の方々の企画・運営等へのご尽力のおかげと感謝申し上げます。

最後になりますが、昨年スタートした新元号・令和の新語・流行語大賞に「ONE TEAM」が選ばれました。今年度は入所者、家族会、職員の皆様が「ONE TEAM」となり、健やかな一年が過ごせることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



ひまわりの街
家族会会長
内藤 光夫

新年あけましておめでとうございます。家族会の皆さまにおかれましては輝かし

い新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年を振り返りますと、6月の清掃活動とバーベキューに始まり、8月の昔懐かしい夏まつり、10月のひまわりフェスタなど、そのたびに並々ならぬ創意と工夫を見て一生懸命さが伝わり、感心するとともに入居者の方々の笑顔を拝見でき、幸せな気分になりました。家族として大変嬉しく改めて感謝申し上げます。本年も職員の方々と共に家族会活動を通して親睦を深め、楽しい企画で盛り上げていきたいと思ひます。家族会の皆様までのご協力よろしくお願ひ致します。

入居者、家族会、職員の皆様にとつて健康で平穩な良い年であることを心より祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。



ひまわり邸
家族会会長
金澤 康弘

新年明けましておめでとうございます。良き新春をお迎のこととお慶び申し上げます。

私の母もお世話になつて早8年、さらに有難いことに、100歳の表彰をして頂くことができました。一時体調を崩した時期もありましたが、今ではすっかり元氣になり、自分の足でしっかり歩いている姿を見るにつけ、介護の場でキメ細かく万全を期して頂いている事に頭の下がる思いです。又、全ての人にとって介護がいかに大切な案件であるかと考えさせられる今日頃です。

家族会のメイン行事である夜邸会を始め、四季折々の催し、地域・ボランティアの方々との絆、どれをとつても有意義な活動だと思ひます。これからの活動が永々

として継続されることを願っております。家族会の皆様のお力添を頂き、今年も明るく楽しく過ごせますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



武豊福寿園
家族会会長
福島 勤

新年あけましておめでとうございます。ご入所者の皆様、家族会の皆様、職員の皆様におかれまして、良き新年をお迎えでき、今年も良き年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年の家族会の活動におかれまして、お忙しい中、たくさんのご家族の参加をしていただき誠にありがとうございます。グループ合同交流会・納涼大会・敬老祝賀会・忘年会・餅つき大会など、ご利用者やご家族がたいへん喜び催しを企画でき、充実した時間を過ごすことができました。ことを心より感謝いたしております。本当にありがとうございます。

今年も、皆様と力を合わせて協力しあい、「絆」を大切にしていきたいながら、家族会を盛り上げていきたいと思っております。引き続き福寿園さんの、益々のご発展をお祈りいたしまして念頭のご挨拶とさせていただきます。



くすのきの里
家族会会長
井上 和雄

新年あけましておめでとうございます。家族会の皆様、入居者の皆様、くすのき

の里の職員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年は令和二年、令和に元号が変わり初めての元日を迎えます。また、干支は子年でこれも十二支の始まりです。昨年はいくつかの自然災害が日本列島に押し寄せて、各地で大きな災害に見舞われました。今年こそは穏やかな年にと念頭に際して願っている所存でございます。

昨年も入居者の皆様を楽しませて頂くため、多くの催しを企画して頂き、心より感謝申し上げます。各ユニットごとの食事会、職員の皆様の日頃から練習の成果を披露して頂いたコンサート、恒例の夏のくすのきまつり、秋には敬老祝賀会、そして歌手を迎えてのくすのきフェス、餅つきなどボランティアの皆様にもご尽力頂きましたことに心より御礼申し上げます。今年も皆様のお力をお借りして、健康で楽しく生活ができるよう、職員の皆様を中心に家族会の皆様と共に協力し、皆様にとって幸せな年となりますことをお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



東海福寿園
家族親睦会
世話人代表
加藤 諭

新年明けましておめでとうございます。家族会の皆様、職員の皆様におかれまして新年を迎えお慶びのことと思ひます。

家族会活動も職員の方々の協力で計画通り活動でき、大変有難うございました。令和の新しい時代になり、ますます高齢化社会になり、東海福寿園様同様、デイサービス、特養ホーム等の施設が多くなってまいりました。介護される皆様も大

変な苦労があると思ひます。家族会の皆様におきまして、各行事への参加協力をよろしくお願ひし、入居者様、職員様との絆を大切にしたい今年も良い一年になりますよう心からお祈り申し上げます。



ちた福寿園
家族会会長
阿知波 満

新年あけましておめでとうございます。家族会の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は年間行事へのご参加ならびにご協力を頂き誠に有難うございました。また、ちた福寿園の施設長様はじめ各職員様には日々ご多忙の中、並々ならぬ多彩なる行事企画・運営にご尽力頂き、入所の皆様の日々健やかに過ごすことができましたこと、家族会代表として深く感謝申し上げます。本年も入所の皆様の日々健やかに過ごすことができる一助として家族会皆様のご支援をいただき、ちた福寿園の家族会を盛り上げていきたいと思ひますのでご協力をお願い致します。最後に皆様にとって素晴らしい一年でありますよう祈念申し上げます。

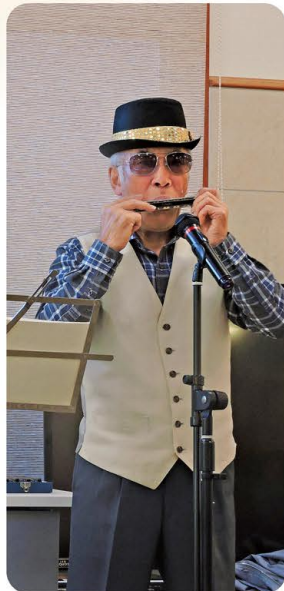


ボランティアさんいつも ありがとうございます。

日頃、施設でお世話になっています
ボランティアさんを紹介させていただきます。

ひまわり邸

ハーモニカボランティアの皆さん



デイサービスにて、昔懐かしい歌をハーモニカで演奏してくださっています。歌詞カードを見ながら皆さん一緒に口ずさんで楽しませていただいています。中にはタンバリンでリズムを取りながら楽しむ方も。職員もハーモニカの音色に癒されています。

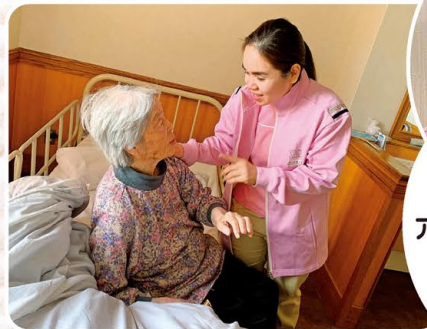
利用者の皆さん、職員一同楽しみにしています。これからも、幸せな音色を聴かせてください。



福寿園では、現在63名のフィリピン人、5名のベトナム人介護士が10施設に分かれて働いています。毎号一人ずつ紹介します。

外国人介護士 リレーインタビュー

- Q** なぜ日本に来ようと思いましたか？
A 子供の頃から「北海道へ行きたい」「雪を見たい」という夢があり、アニメのドラえもんを見て日本に行きたいと思うようになりました。
 また、自分の子供と家族を養えるようにと思いました。
Q 日本で働いてみてどうですか？
A 最初は日本語があまり分らなかったのが本当に大変でしたが、同僚の応援で仕事にも早く慣れることができました。
Q 休日は何をして過ごしていますか？
A 勉強や映画を見たり家族とテレビ電話をしています。時には、ショッピングや外食をすることもあります。
Q 日本に来て嬉しかったことや楽しかったことは何ですか？
A フィリピンには雪が降らないので、日本に来て初めて雪を見ることができて嬉しかったです。
Q 好きな日本の有名人はだれですか？
A 山崎賢人さんです。「好きな人がいること」というドラマを見てファンになりました。
Q 将来の夢は何ですか？
A フィリピンで自分の家を建てることです。まず、介護福祉士の試験に合格したら日本で家族と一緒に住みたいです。
Q 最後に一言
A 介護福祉士の試験まで後一年になりました。悔いのないように頑張ります。



アラノ ミッシェル モレノ
ニックネーム
ミッシェル
花の里

New ひまわり ギャラリー

入居者・
利用者さんの作品
をご紹介します。

作品

お正月飾り

ケアハウスパシフィック 入居者の皆さん
毛糸をコケだまに見立てて
お正月飾りを作りました。
丸くするのが少し難しかったですが、
かわいく上手にできました。



令和2年1月10日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園
■理事長／山田浩三

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
https://www.fukujuen.or.jp

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。